

平成30年7月26日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

認定NPO法人 IVY

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

### 1 企画名および企画概要

企画名:

企画実施概要:

(簡潔に記載ください)

①実施内容

1) ODA、NGO相談員制度、弊団体ODA関連事業についての紹介

2) ワークショップ「豊かさの開発」

・豊かな社会とはどんな社会か？

・持続可能な開発目標(SDGs)で目指す社会とは？

3) 国際協力に対する相談対応

②対象者および参加人数 弘前大学 人文社会科学部生 38名

### 2 出張者氏名

阿部真理子

### 3 依頼元/主催団体名

弘前大学 人文社会科

### 4 実施予定日時

平成30年6月6日 (水) 10:20 ~ 11:50

### 5 実施場所

会場名 弘前大学総合教育棟(住所:青森県弘前市文京町1番地)

### 6 実施報告

ODAについて説明を行った後、カンボジアと日本の写真の比較、分析、豊かさのカード選び等を行った。

学生からの感想

・豊かさとは一体何を指標に計ればいいのか考えさせられました。そしてカンボジアの写真ではお店や車が沢山あり、イメージしていたカンボジアでは無かった。もっと世界を見てみたいと思った。

・SDGsのような指標は知っていたのですが、IVYという法人は全く知らなかった。講義を通してそうした法人があること、またどのような活動をしているのかを知ることが出来てよかったです。

・世界をどうみるのか様々な捉え方があり、ちょっとした観点の違いからより考え方が広がると思いました。とても有益なワークショップでした。(留学生)

### 7 写真(カラーで2枚程度添付のこと)



これから行うワークショップの説明をしている。

(写真1)



カンボジアの写真を見て、開発という視点から議論する学生

(写真2)

以上

平成30年7月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人  
日本国際ボランティアセンター

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

### 記

#### 1 企画名および企画概要

- 企画名:** 東京外語大学 講義「国際協力論A」(ゲスト講師)
- 企画実施概要:** ①実施内容:東京外語大学における、開発協力や日本の援助全般について取り扱う授業「国際協力論A」に、当団体職員を講師として派遣する。  
②対象者および参加人数:該当講義履修生約40名

2 出張者氏名 木村 茂(ラオス事業担当)

3 依頼元/主催団体名 東京外語大学 中川寛章(担当教員)

4 実施予定日時 平成30年6月22日 (金) 12:40~14:10

5 実施場所 東京外語大学(住所:東京都府中市)

6 実施報告  
・当団体を含む日本の国際協力NGOの活動国現地における活動を紹介し、現地においてどのような役割を日本のNGOが果たしているのかを伝えた。  
・「現地の具体的な話が聞けてよかった」、「このような活動は、該当国の政治やタブーと深く関わっていることが伝わった」、「地域や活動ごとに専門性が求められることがわかった」などの感想をいただいた。

#### 7 写真

	
当日講演をする木村。	講演ではなるべく現地の活動を想起させるよう、写真を多く使って説明を行った。

(写真1)

(写真2)

以上

平成30年7月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人  
名古屋NGOセンター

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

### 記

#### 1 企画名および企画概要

- 企画名:** 「第6回ぼらマッチ！なごや」における相談対応サービス
- 企画実施概要:** ①企画内容・・・ボランティアを求める団体とボランティア希望者のマッチングイベントに、NPO/NGOによる活動紹介のため設置された面談ブースで、来場者や、他の出展団体からの相談に対応した。  
②対象者および参加人数:学生、社会人、退職者など 来場者約500名

2 出張者氏名 (特活)アイキャン 小椋 美友紀、(特活)名古屋NGOセンター 堀川 絵美

3 依頼元／主催団体名 名古屋市、名古屋市社会福祉協議会

4 実施予定日時 平成30年6月23日 (土) 11時15分 ~ 16時00分

5 実施場所 愛知学院大学 名城公園キャンパス(住所:愛知県名古屋市)

6 実施報告 ボランティア希望者への活動紹介、相談はもちろんのこと、東海地区の多くの団体がブース出展したイベントのため、団体間の情報交換も行うことができた。来場者と団体、団体と団体といった、多方向からのNPO活動の活性化に携わり、今後の活動に向けての関係性構築の手応えも得られた。

#### 7 写真



(写真1)

(写真2)

以上

平成30年7月26日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人  
アイキャン

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

### 記

#### 1 企画名および企画概要

企画名： 国土館大学政治行政学科の学生に対する講演

企画実施概要： ①実施内容  
同学科の「国際機構論」の講義において「国際社会におけるNGOの役割—SDGs実現のための国際協力」というテーマで講演を行った。  
②対象者および参加人数  
大学3・4年生(1・2年生聴講生含む) 約170名

2 出張者氏名 吉田 文

3 依頼元／主催団体名 国土館大学 政経学部 政治行政学科 上村信幸 教授

4 実施予定日時 平成30年6月8日 (金) 16時25分 ~ 17時55分

5 実施場所 国土館大学 (住所:東京都世田谷区)

6 実施報告 講演には受講者の他、聴講生も参加しており、参加者からは「世界の問題は同時に自分自身の身近な問題であると気が付いた」「公務員志望であったが社会課題を解決するNGOにも興味がわいた」「就職活動中のため、今後の参考にどんな思いを持って仕事に取り組んでいるか聞かせてほしい」などの感想をいただいた。今回の出張講演を通じ、学生の今後のキャリア形成における国際協力分野での視野を広げ、国際社会への貢献に対する意識を喚起できたと感じる。

#### 7 写真



聴講生の参加も多く、ボランティア活動や国際協力への関心が高い学生が多いと感じた。講演後に質問をしに来る学生も多数いた

(写真1)

講演者の話やパワーポイントの内容を熱心にノートに書き留める学生の姿が多数見受けられた

(写真2)

以上

平成30年7月26日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人  
関西NGO協議会

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

### 1 企画名および企画概要

**企画名:** 音楽フェスティバル内、NGO等紹介ブースエリア「DIALOGUE Forest」へのNGO相談員ブースの出展

**企画実施概要:** ①実施内容:「多様な生き方、表現、価値観が交わり、1つになる場所」をコンセプトに開催される音楽フェスティバル「Great Luck Festival」内、NGO等ブースエリア「DIALOGUE Forest」にてNGO相談員ブースを出展した。国際協力NGOの活動、ODA、持続可能な開発目標(SDGs)や、その達成に向けた取り組みを来場者へ紹介し、来場者からの質問や相談に対応した。また、2日目には小ステージにてトークイベントを実施しNGOの活動やNGO相談員について来場者へ紹介した。

②対象者および参加人数  
ブースへの訪問者のべ42名、トークイベント参加者15名

**2 出張者氏名** 谷川詩織((特活)関西NGO協議会)

**3 依頼元/主催団体名** 株式会社スタディオアフタモード(「DIALOGUE Forest」エリア運営事務局)

**4 実施日時** 6月16日(土) 11:00 ~ 6月17日(日) 19:00

**5 実施場所** STIHL の森 京都(京都府南丹市日吉町天若上ノ所25 番地)

**6 実施報告** 普段NGOや国際協力活動に関する情報に触れることの少ない相談者、NGOとは何か?といった相談が目立った。相談者からは、「国際協力やボランティア活動に興味はあったものの普段なかなか情報を得ることもNGO関係者に出会うこともなかった、今回さまざまな団体が身近にあることを知ることができ本当によかった」といった声があった。また、世界の問題や自分たちの生活との繋がり、世界の問題解決のために活動するNGOの存在を知らなかったという相談者がその場でNGOのSNSなどをフォローし「これから学んでいきたい」との声があった。新しい層への知識の普及・国際協力分野の裾野拡大に貢献できたと考えている。

### 7 写真(カラーで2枚程度添付のこと)



NGO等紹介ブースエリア  
「DIALOGUE Forest」の様子

(写真1)



相談対応中の様子

(写真2)

以上

平成30年6月30日

外務省国際協力局民間援助連携室

公益財団法人PHD協会

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

### 記

#### 1 企画名および企画概要

企画名:

企画実施概要:

##### ①実施内容

NGO合同によるスタディツアー説明会会場にNGO相談員ブースを出展し、説明会参加者からの相談に対応した。

##### ②対象者および参加人数

近畿圏の大学生73名、スタッフ約30名

#### 2 出張者氏名

坂西卓郎 (PHD協会)、谷川詩織 (関西NGO協議会)

#### 3 依頼元/主催団体名

株式会社マイチケット

#### 4 実施予定日時

平成30年6月23日 (土) 13:30 ~ 17:00

#### 5 実施場所

大阪府大阪市

#### 6 実施報告

PHD協会と関西NGO協議会の2団体で、16名、28件の相談に対応した。またPHD協会からはインターンで大学院生の酒井を帯同させ、相談員ブースのPRおよび相談対応の補助を行った。当日は学生からの就職や進学の相談等もあり、現役大学院生のコメントは相談者にとっても貴重なものとなったと思われる。

参加者の感想①: NGOに就職したくても情報がなく困っていたので、今日は貴重な情報が聞けて良かった。また就職のアドバイスももらったのは収穫だった。

#### 7 写真(カラーで2枚程度添付のこと)



(キャプション) NGO相談員ブースにて学生からの就職相談を受けている様子

(写真1)



(キャプション) 学生の方から国際協力を学ぶ大学院についての相談を受け、PHD協会インターンで現役の大学院生が実体験を話している様子

(写真2)

以上

平成30年7月26日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人  
ピースウィンズ・ジャパン

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

### 記

#### 1 企画名および企画概要

企画名: 広島修道大学での講演

企画実施概要: ①実施内容  
国際コミュニティ学部で開講している「国際NGO論」の授業にて、NGOやODA事業の理解促進を目的とした講演(講演:打合せ1時間40分)

(簡潔に記載ください)

②対象者および参加人数  
上記授業を履修している広島修道大学2～4年生約30名

2 出張者氏名 角免 昌俊(かくめん まさとし)

3 依頼元/主催団体名 広島修道大学 名波彰子

4 実施日時 平成30年6月19日 (火) 午後2時30分～午後4時30分

5 実施場所 広島修道大学 国際コミュニティ学部(広島県広島市安佐南区大塚東1-1-1)

#### 6 実施報告

・本講演については、同大学勤務の名波彰子様より「主に地方から行う国際協力や現場のNGOの様子について話していただきたい」という趣旨の依頼を受けた事により、今回の講演に繋がった。学生は熱心に講演を聞き入っており、実際のNGOスタッフが伝える現地でのNGOの様子や地域から行う国際協力について、ノートを取る学生が多数見られた。講演内容としては、主に国際協力を行う現場でのNGO・NPOの具体的な役割や、地域創生を含め日本の地方過疎地域・国際協力現場過疎地域の双方にとって相乗効果を生む国際協力などについてである。

・当日、NGO相談員として講演終了後に、次の質問を受けた。  
- キャリアとして国際協力を携わる為に必要な資格や今のうちから取り組むべき事はあるかどうか  
- 講演担当職員自身が国際協力を長く携わる理由とモチベーションは何か

・所感  
「国際NGO論」内での講演という事で、もともとNGOや国際協力について興味がある学生が多い様子だった。この先、同様の講演を行う際には、PWJ側から一方的に話すだけでなく、聴講人側が実際に考えてアイデアを出し合えるようなグループワーク形式の時間やアイスブレイクの時間も取り入れる事を視野に入れる必要性を感じた。

#### 7 写真(カラーで2枚程度添付のこと)



講演風景、多くの学生が講演内容を熱心にノートに書き留めていた

(写真1)

(写真2)

以上

平成30年7月26日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人  
沖縄NGOセンター

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

### 記

#### 1 企画名および企画概要

企画名: SDG'sを通して身近に感じる世界「世界がもし100人の村だったら」

企画実施概要: ①実施内容  
中学校の総合的な学習の時間の中で、SDG'sをテーマに国際理解に関する授業「世界がもし100人の村だったら」のワークショップを行った。

②対象者および参加人数  
糸満市立長嶺中学校1学年98名と学年教員5名

2 出張者氏名 上原真紀・永田有希

3 依頼元／主催団体名 糸満市立長嶺中学校

4 実施予定日時 平成30年6月27日（水） 10:00～17:00

5 実施場所 会場名JICA沖縄（住所：沖縄県浦添市）

6 実施報告  
ワークショップを通して、世界の課題について身近に感じてもらうことができ、SDG'sから自分たちのできることを考えるきっかけ作りができた。生徒からの感想より、「日本が先進国というのは聞いたことあったけど、富が一番持っているというのは初めて知った。」「世界のことを100人の人数で知ることができてとても勉強になった。」「沖縄にもたくさん外国人が増えてきていて、その人たちが困っていることがあると知って、私たちにできることは無いか考えたい。」などのコメントがあった。

#### 7 写真(カラーで2枚程度添付のこと)



ワークショップ前半：世界の人口、男女比、世界で話されている言語などについてPPTでの説明やクイズ

(写真1)



ワークショップ後半：薬局で薬を購入したいが、文字が読めないことを体感中

(写真2)

以上